

新型コロナウイルス感染症対策本部会議議事録（第16回）

日時

令和2年4月23日（木） 9時20分～10時20分

場所

全員協議会室

報告案件

- ・草津市における新型コロナウイルス感染症患者の判明状況について
- ・道の駅草津の休館について（幹部会決定事項）

協議案件

- ・市公共施設の休館の延長について
- ・小中学校 幼稚園・こども園（教育課程）の休学・休園の延長について
- ・市職員の交代勤務の延長について

出席者

本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部長 総合政策部長、危機管理監、草津未来研究所・経営戦略担当理事
総務部長、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、
子ども未来部副部長、都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、
議会事務局長、教育委員会教育部長、教育委員会教育部理事
西消防署長、南消防署長

協議内容

【市長】

それでは、議事に移ります。

議事

○報告事項

【危機管理監】

「草津市における新型コロナウイルス感染症患者の判明状況について」資料説明

【市長】

付け加えると、県内77例目から82例目までは、大津市役所の職員の家族です。県内84例目から87例目については、歯科医院のスタッフで感染者の方々であるが、歯科医院の名前までは公表されていない。

【危機管理監】

「道の駅草津の休館について（幹部会決定事項）」資料説明

【環境経済部長】

道の駅については、県の4月21日の休業要請に該当する施設であることから早急に閉鎖の調整を進めさせていただきました。しかし、農業者の直売所との調整もあり、明日4月24日から臨時休業することとした。

○協議事項

「市公共施設の休館の延長について」

【市長】

草津市の感染者が次々と発生し、重大事態であることに鑑み、5月6日までを休館期間としているが、5月末まで延長したい。

【危機管理監】

ほとんどの施設が閉鎖している。まだまだ予断をゆるさない状況であることから、休館期間を延長するものです。

【市長】

5月31日まで使用を許可しているものについても許可を取り消す対応としたい。また、関連して、特に密集が発生しているロクハ公園の一部の箇所についても閉鎖する方向で検討したいが、状況の説明をしてほしい。

【建設部長】

周辺からロクハ公園のスポーツ広場の特にバスケットボールのコートがあるところで若者がプレーしているとの意見が指定管理者に入っている。このことから4月21日からロープで使用できないよう措置しているが、物理的に入って使用することができることから、今後、駐車場を閉鎖し、バスケットゴールにネットを張って使用できないようにしようと考えている。他の箇所については、散策者向けの駐車場として残したいがどうか。

【市長】

スポーツ広場以外も閉鎖するとなると、他の草津川の跡地公園の利用にも関連するが、スポーツ広場の利用の特殊性、密集の状況を考慮し、今回は、スポーツ広場の対策を講じていただきたい。

【建設部長】

その方向で調整します。また、湖岸緑地にも県外からの利用も含め密集している現状から、野洲市長から県に野洲市地先の利用の制限をしてほしいと要請され、県が一部で対応しているとのこと。これを受け、草津市地先でも同様の対応が取れないか、県と協議した結果、本日の県の対策会議で議論される予定ですが、閉鎖の方向で調整していただけるものと考えている。結果は随時確認し、対応していきたい。

加えて、烏丸半島の駐車場の利用も懸念されることから、県の対応も踏まえ、

琵琶湖博物館、みずの森等の駐車場を考慮し、ゴールデンウィーク中の閉鎖を実施検討していきたい。

【市長】

湖岸緑地の件については、私から県防災危機管理監に直接要請している。閉鎖にあたっては、関連施設の職員駐車場の確保にも考慮しながら対応していく必要がある。また、昨日の専門家会議では公園施設の利用については、すいてい時間・場所に利用することを呼び掛ける発信がされているので、看板の設置は対応済みであるが同様の発信が必要となる。

では、公共施設の休館の延長についての意見はありますか。

【健康福祉部長】

公共施設ではないが、福祉バスの運行について、利用される関係団体には行事等の自粛を要請しているので、4、5月については、すべてキャンセルされているが、予約の受付はできる状態となっているので、受付しない対応をとりたい。

【市長】

予約が入らない対応をとってください。

【健康福祉部長】

障害者福祉センターについては、相談対応があるので施設は開いているが、一部の部屋について貸館を実施しており、障害者や障害者を支える団体が利用している。しかし、この貸館利用も感染症対策として休館したいと考えているがその対応でよいか。

【市長】

早急に休館措置ができるよう対応してください。

【教育部長】

5月6日までの予約を取り消しているが、5月7日から5月31日まで取り消しする対応でよろしいですか。

【市長】

その通り。

加えて、指定管理者の勤務形態についてですが、市職員も在宅勤務を実施していることも踏まえ、指定管理者の施設についても同じ対応にしたい。もちろん在宅勤務ですので、人件費は支払う形になる。この対応でよいか。意見はあるか。

【子ども未来部副部長】

学童保育についてですが、指導員の数が少ない状況の中で、預かる子どもも減っているところもあるが、実施するには困難な状況である。交代勤務の実施にあたっては、子どもの預かりの状況も踏まえ実施するというところでよろしいで

しょうか。

【市長】

それでよい。対応については、各施設に周知してほしい。

○協議事項

「小中学校 幼稚園・こども園（教育課程）の休学・休園の延長について」

【市長】

5月6日までになっている休校・園の期間を5月31日まで延長したい。また、保育所・学童保育、小学校の預かり対応については継続しているが、より自粛を促していく方向で調整してほしい。

【教育長】

この方向で、校長会、教育委員とも調整していきたい。

【教育委員会理事】

学校での預かり対応についても、やめはしないが、より自粛を促すという方向でよろしいでしょうか。現在、預かりについては、全体で7%の利用があり、昨日時点で、286名が利用されている。多い小学校で39名、少ない小学校は5名となっている。

【市長】

自粛の依頼の内容については、教育委員会と子ども未来部局で調整し、最終、内容を確認する。

【子ども未来部副部長】

それぞれの決定の連絡はいつするのか。加えて、保育所の自粛要請についてですが、既に出席率が3割まで減ってきている。さらにこれ以上の条件を付け加える必要性について議論いただけないか。

【市長】

どういう発信が必要か内容を検討する必要がある。

【子ども未来部副部長】

いつ発信するかについては、発信の条件にもよるが準備が必要である。

【教育委員会理事】

早いほうが良い。大津・野洲は発信しており、対応の決定が遅いとの指摘がある恐れがある。決定したことは早く伝えたい。

【子ども未来部副部長】

5月31日まで延長する旨の発信だけであるのなら、すぐに対応できるが、さらなる条件を加えるのであれば少し時間をいただきたい。

【副市長】

引き続き、自粛を要請するという形でならどうか。

【子ども未来部副部長】

継続的な対応で、新たな条件が加わらないのであれば、すぐ対応できます。

【副市長】

以前は、出席率が7割であったが、今は3割まで減っていること踏まえ、継続的に自粛を要請する方向でよい。

【市長】

保護者へのメール等のお知らせは、教育委員会部局と子ども未来部の時間を統一する必要がある。部局間で調整し、本日の夕方までに対応のこと。

○協議事項

「市職員の交代勤務の延長について」

【市長】

市職員の交代勤務は既に実施しているが、この取組も5月31日まで延長したいが意見はあるか。

【総合政策部長】

延長措置についての意見はありませんが、延長措置により、サテライトで勤務する所属が増える可能性がある。現在は、サテライト場所は、2階特大会議室、8階大会議室、図書館で勤務してもらっているが。

サテライトの拡大について、コミュニティー防災センター、アミカホール研修室、クリーンセンターが候補地とさせていただいているが、各部局には協力いただきたい。

【健康福祉部長】

人とくらしのサポートセンターで、家賃補助の問い合わせや相談が殺到している。その対応のため、窓口の対応として、1階のサロンも相談場所として使用させていただけないか。問い合わせの件数等の推移も見定めながら相談させていただきたいと考えている。

【市長】

総務部と協議してください。

【草津未来研究所・経営戦略担当理事】

会計年度任用職員を忙しい部局へ応援させられないか。

【総合政策部長】

感染を拡大させない取組として、2班集体で交代勤務しているが、会計年度任用職員を複数の所属をまたがって勤務していただくと、この取組の意味が薄れる。

【市長】

原則は、現状の交代勤務で対応する方向で調整のこと。

他に特に意見ないので、5月31日まで延長としてください。

○その他

【草津未来研究所・経営戦略担当理事】

3密を避けるため、この本部員に対し、タブレットを配布しようとして検討している。業者からは、在庫が少ないとの情報があるが、導入は5月1日を目指して、20台、ズームができるようにしたいと考えている。

【市長】

セキュリティーについて検討してほしい。教育委員会はどのようにしているのか。

【教育長】

チームスというソフトを使用している。

【草津未来研究所・経営戦略担当理事】

現在、セキュリティーレベルに関しては、インターネットに掲載できる情報の水準を想定しており、テレビ電話のように取り扱い、集まることを回避する目的で考えている。

【環境経済部長】

導入される20台の中で、庁外の所属との連絡に使用したい。時間の節約にもつながる。

【議会議務局長】

タブレットは汎用的に使用しないと、もったいないと考えられる。しかし、汎用的に使用するとすると、様々な情報の取り扱いが課題となってくるので、使い方について検討していただく必要がある。

議会では、個人に貸出しているが、複数人で使用すると機密等の情報の取り扱いのルールづくりが必要である。議会との調整も含め対応を検討してほしい。

【草津未来研究所・経営戦略担当理事】

分かりました。

【副市長】

介護と障害の認定に係る訪問調査について、申請者から、訪問することに対する苦情や意見はあるか。

【健康福祉部長】

現在、施設への訪問は原則しない対応をとっており、在宅についても、相手方の意向を確認してから対応している。

【副市長】

その場合、要介護認定の有効期限は大丈夫なのか。

【健康福祉部長】

その点については、国から1年間の延長措置の通知が発出されているので、その対応を取らせていただく。

【副市長】

大津市は閉鎖されており、原則訪問も中止されている。HPも掲載されているが、施設の利用を止めると、介護予防が止まってしまう恐れがある。

【健康福祉部長】

難しい判断になるが、できるだけ相手方の意向を尊重した対応で進めていきたい。

【副市長】

審議会、会議の対応ですが、とても開催できる状況にない。書面審議などで対応できるのか。

【健康福祉部長】

福祉施設の法人審査会については資料も多く、説明も必要となり継続して開催するのは困難である。このことも考慮してほしいと考えている。

【健康福祉部長】

コロナウイルスの対策として、ネットカフェの営業自粛の都合等で、ホームレスの保護について、市営住宅も検討したいと考えているので協議をお願いしたい。

【市長】

各部局間で協議してほしい。

○閉会

以上